（別添資料１）

事業所名	すまいるキッズ	支援プログラム（放課後等ディサービス）	作成日	2026 年	3 月	31 日

法人（事業所）理念	「お子さん、一人ひとりの個性を尊重し、発達段階にあわせた療育の実施」及び「地域に不足する社会資源充足の一翼を担う」を基本理念とする。「放課後等デイサービスガイドライン」に示される、「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」及び「地域支援」を基本とし、特に、本人支援である、「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」の５領域に沿った療育を重要なものと位置づけ、お子さんの発達段階に応じた適切な支援を実施していく。		
支援方針	お子さんの身体及び精神の状況並びにその置かれてる環境に応じて、適切かつ効果的な、日常生活における発達段階に応じた基本的な動作や集団生活への適応などを目標に療育を行う。 また、サービス実施に当たっては、地域との結びつきを重視し、お子さんの居住する市や町、他の福祉サービス事業者等との密接な連携に努める。			
営業時間	8 時 45 分から 17 時 15 分まで		送迎実施の有無	あり　なし

		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。また、健康状態の常なるチェックと必要な対応を行う。睡眠、食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身に付けられるよう支援する。また、健康な生活の基本となる食を営む力の育成に努めるとともに、楽しく食事ができるよう、口腔内機能・感覚等に配慮しながら、咀嚼・嚥下、姿勢保持、自助具等に関する支援を行う。さらに、病気の予防や安全への配慮を行う。日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれの子どもに適した身体的、精神的、社会的訓練を行う。生活の中で、さまざまな遊びを通して学習できるよう環境を整える。また、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化する。
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化などに関する支援内容を立案し、実践していく。姿勢の保持や各種の運動・動作が困難な場合があれば、様々な補助用具等の補助的手段を活用して支援する。子どもの発達段階及び特性に配慮した、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、活動等を通して支援する。
	認知・行動	視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促すために、制作活動や身体遊び等を取り入れながら、支援を行う。環境から情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援する。
	言語 コミュニケーション	物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援する。子どもの発達段階に対応した数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための具体的な働きかけなどの支援を行う。認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるような環境調整や支援者の関わり方の指導や調整を行っていく。また、保護者に対しても個々の特性に関する情報を伝え、こだわりや偏食等に対する家庭での具体的な支援を提案していく。感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行う。構音に課題のあるお子さんに関しては療育の中で発音の確認などを行い、音を作ること、発声についての練習を行っていく。
	人間関係 社会性	人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。ルールのある遊びや複合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、社会性の発達を支援する。大人を介在して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。活動に参加するための手順やルールをわかりやすく提示し理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。年齢や理解度に合わせながらソーシャルスキルを身に着けることが出来るよう支援していきます。

家族支援	基本的にはご家族に療育に参加していただき様子を見て頂く中で、お子さんについて知ること関わりのヒントが知ることが出来るよう支援していきます。適宜専門職が相談を受けながらご家族の思いに寄り添いながら支援していきます	移行支援	お子さんのライフステージに合わせながら移行先をご家族と一緒に選んでいき、移行先でお子さまがより良い生活が出来るよう支援していきます。移行後もご家族の要望に合わせながら移行先と連携し生活を支えていきます。
地域支援・地域連携	地域の小中学校、高等学校、特別支援学校とお子さんたちのより良い生活の為連携していきます。地域の情報を伝えながらご家族の地域での生活を支えていきます。	職員の質の向上	計画的に内部職員研修の実施や外部研修に参加し研鑽に努め療育の質の向上努めています。また事業所内でのケースカンファレンスを定期的に行い多角的な視点で支援が出来るよう努めています。
主な行事等	活動の中で季節を取り入れた造形活動や不定期で同一法人内事業所と「うんどうあそび」の会を実施		